

2022 年度（令和 4 年度）事業報告書 （令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）

I. 事業の状況

本年度は次の通り事業を実施した

II-1. 特別企画展（入館者数 63,933 人：有料+無料）

| 入館者 | | 本年度 | 前年度 | 増減 | 備考 |
|--------------|----|--------|--------|--------|---------|
| 一般 | 個人 | 60,015 | 30,312 | 29,703 | 友の会員等含む |
| | 団体 | 498 | 42 | 456 | |
| 学生 (大高中小) | 個人 | 2,930 | 1,635 | 1,295 | |
| | 団体 | 490 | 130 | 360 | |
| 計 | | 63,933 | 32,119 | 31,814 | |

2. 特別企画展の内容

年間を通して下記の特別展を開催した。

| | 特別展示名 | 会期 | 会期日数 | 入館者（人） | |
|----------------------|-------------------------|-------------------------------|------|--------|------|
| | | | | 入館数 | 日当たり |
| 1 | 仏教絵画 浄土信仰の絵画と柳宗悦 | （‘22年3月31日） ‘22年4月1日～6月12日 | 63日 | 6,875 | 109 |
| 2 | 沖縄の美 | ‘22年6月23日～8月21日 | 52日 | 10,266 | 197 |
| 3 | 柳宗悦と朝鮮の工芸 陶磁器の美に導かれて | ‘22年9月1日～11月23日 | 72日 | 10,762 | 149 |
| 4 | 2022 年度日本民藝館展 | ‘22年12月10日～12月25日 | 14日 | 3,414 | 244 |
| 5 | 生誕 100 年柚木沙弥郎展 | ‘23年1月13日～3月31日 （‘23年4月2日） | 67日 | 32,616 | 487 |
| 開催日数・総入館者数（年度跨ぎ日は省く） | | | 268日 | 63,933 | 239 |

III. 民藝の普及・振興に関する事業

1. 特別展にあわせて下記のオンライン講座を開催。

| | 記念講演会名等 | 講師 | 実施期日 | 参加人数 | 運営 |
|---|------------------------|------------------------------------|---------------------|--------------|--------------|
| 1 | 沖縄の美 展 柳宗悦に魅せられて | 澤地久枝（ノンフェクション作家） | ‘22年7月29日 | 240 | Live オンライン有料 |
| 2 | 生誕 100 年柚木沙弥郎展「自作と民藝館」 | 柚木沙弥郎 染織家 （2018.5.19 記念講演録画を放映） | ‘23年1月13日～ 4月16日 | 839（4月16日現在） | オンライン有料 |

2. 小・中・高等学校との連携事業

学校教育との連携活動として、小学校（2校：桐朋学園小学校 71名、駒場小学校 68名）と高等学校（1校：橘学苑高等学校 36名）の学生を受け入れ、美術館教育を館内にて実施

3. 博物館実習教育プログラム（博物館実習の受入れ）

学芸員資格の取得を希望する学生に対して、現場での教育実習プログラムを設け、各大学より応募があった学生を対象に講義と実習を行った。

| 事業名 | 実習日数 | 学校数 | 人数 | 教育カリキュラム |
|-----------|---|-----------|-----|--|
| 博物館実習生の受入 | 10日間（2022年6月9日～2023年1月12日） 講義3日間、実習7日間 | 大学 15校 | 16名 | 1.講義（民藝館の活動、民藝美論、蔵品の管理、展示に関する基礎知識） 2.実務実習（展示替え作業） |

4. 国際文化交流事業（国内含む）

- ・国際交流基金の企画制作による、テーマ別にピックアップした国内の美術館 24 館を紹介する映像作品に参加。国際交流基金の YouTube（5 か国語）で全世界に配信中。
- ・2025 年秋に国立グスタフスベリ陶芸美術館（スウェーデン）にて開催予定の展覧会「濱田庄司とウィルヘルム・コーゲ」（仮）準備のためのグスタフスベリ陶芸美術館学芸員の調査を 3 月に受け入れ。
- ・「柳宗悦と朝鮮の工芸 ―陶磁器の美に導かれて」の記念催事として、当館所蔵の柳宗悦の朝鮮関連記録資料に関する展覧会「柳宗悦の心と眼」（シンポジウム含む）を、東京芸術大学の学術協力と韓国国外所在文化財財団の助成を得て、2022 年 9 月 14 日から 10 月 1 日まで韓国文化院にて共同開催。

5. 日本民藝館所蔵品の貸出

日本民藝館の所蔵品貸出は下表の通りである（美術館等は 14 ヶ所、出品 207 点）

| 会場 | 展覧会名 | 貸出作品 | 点数 | 会期 |
|--------------------------------|---------------------------------|---|----|--|
| 東京国立博物館 九州国立博物館 | 沖縄復帰 50 年記念「琉球」 | 芭蕉桐板紺地格子着物 芭蕉木綿紺地花鳥 等 | 4 | ‘22. 5. 3-6. 26 ‘22. 7. 16-9. 4 |
| 岩手県立美術館 福島県立美術館 東京ステーション | 東北のまなざし 1930-1945 | 芹沢銈介、棟方志功作 品、こぎん衣裳、油徳 利、背中当、蓑 等 | 58 | ‘22. 4. 9-5. 15 ‘22. 6. 4-7. 10 ‘22. 7. 23-9. 25 |
| 駐日韓国大使館 韓国 文化館ギャラリー | 朝鮮とその藝術：刊行 100 周年記念「柳宗悦と心の眼」 | 柳宗悦の肉筆原稿、 写真、史料等 | 40 | ‘22. 9. 14-10. 1 |
| 市川市文学ミュージアム | 式場隆三郎と民藝運動 | 柳宗悦作「切抜帖」（第 1 巻）より「式場隆三郎 柳宗悦宛書簡」等 | 23 | ‘22. 4. 20-6. 24 |
| ワタリウム美術館 | 鈴木大拙展 | 棟方志功作品、大津絵、 羅漢像、柳宗悦書「美 の法門」等 | 14 | ‘22. 7. 5-10. 30 |
| 静岡市立芹沢銈介美術 館 | 芹沢銈介の沖縄展 | 沖縄絵図、琉球風物等 | 9 | ‘22. 10. 8-12. 11 |
| 豊田市民芸館 | 藍染の絞り 片野元彦・かおりの仕事 | 片野元彦、かほり作品 木綿地藍染竜巻紋等 | 27 | ‘22. 9. 13-12. 4 |
| 女子美術大学美術館 | 柚木沙弥郎の 100 年-創造の 軌跡 | 注染幾何紋布、注染水玉布 型染唐草文布 等 | 20 | ‘22. 9. 17-10. 17 |
| 滋賀県立陶芸の森 | 静中動：韓国スプリットをた どる-開かれた陶のアート | 白磁満月壺、白磁立壺等 | 11 | ‘22. 9. 17-12. 18 |
| 韓国リウム美術館 | 朝鮮白磁大展 | 白磁蓋物 等 | 6 | ‘23. 2. 28-5. 28- |
| 富山県美術館 3 館巡回（2023. 12 迄） | 生誕 120 年棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ | 大和し美し、華厳譜 いろは版画柵 | 16 | ‘23. 3. 18-5. 21 |

6. 出版などのメディアによる民藝の普及活動への協力

- ・機関誌である雑誌『民藝』への編集協力
- ・柳宗悦『琉球の富』（沖縄返還 50 周年を記念して、ちくま学芸文庫から 2022 年 5 月に刊行、解説：松井健担当）
- ・日本の伝記 知のパイオニアシリーズ『柳宗悦と美』（土田真紀著 玉川大学出版会 2022 年 7 月刊行）
- ・浅川巧『朝鮮の膳/朝鮮陶磁名考』（ちくま学芸文庫から 2023 年 1 月に復刊、解説：杉山享司担当）

7. 各地美術館や学校及び関係団体への講師・講演協力

- ・日本民藝協会主催の催事、及び各地民藝館や美術館、大学等への講師（学芸員）派遣を通して、民藝運動及び日本民藝館の活動をアピールし民藝の普及・推進を図る。

8. 調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

- ・所蔵品の調査・研究を基にした情報を整理し、展覧会等に供する。
（「仏教絵画—浄土信仰の絵画」展の関連図録として、展示作品及び柳宗悦の未公開の原稿を紹介。
また、韓国文化院で開催した『朝鮮とその藝術』刊行 100 周年記念「柳宗悦の心と眼」展の図録として、柳の未公開を含む肉筆原稿やスケッチブックを紹介した。）
- ・外部の研究者や学芸員に対して、作品や資料に関する調査（熟覧）を受け入れる。
- ・Web（HP 等）を通して、主要な収蔵品の情報を随時提供する。

IV. 民藝の工人育成・協力推進事業

1. 日本民藝館展の開催

| | |
|---------|-------------------------------|
| 会期 | 2022年12月10日～12月25日（14日間） |
| 表彰式・講評会 | 2022年12月6日（受賞者：館賞1、協会賞1、奨励賞4） |
| 入館者数 | 3,415人（入館指定日時予約制） |

出品状況（応募・審査状況）

| 出品分野 | 出品者数 | 制作者数 | 出品点数 | 審査結果 | | |
|---------------------------|------|------|--------|------|------|------|
| | | | | 入選 | 準入選 | 落選 |
| 分野（陶磁器、染織、織物、木漆工、ガラス、編組等） | 331名 | 358名 | 1,375点 | 514点 | 376点 | 485点 |

V. 広報 他

- ・各特別展のポスター及び年間特別展開催パンフレットを製作し、美術館・教育機関・工芸館ギャラリーなどへ配布。並びに京王線主要駅の駅貼り大型ポスターの掲出。
- ・各特別展のチラシ（案内状）を製作し、報道機関・民藝関係者・友の会会員へ配布。
- ・マスメディアを通して展覧会や当館の活動に関する情報を紹介（NHK「日曜美術館」での放映や雑誌等の誌面紹介）。
- ・館 Web サイト（ホームページ）や SNS（フェースブック、インスタグラム）を通しての情報の発信
- ・弊館の歴史やコレクションを紹介する映像資料「日本民藝館物語」（三部作）の視聴提供

VI. 所蔵品等の修復整備

- ・色絵蓮池翡翠文皿 1 点、スリップウエア皿 1 点、スペインコバルト採便器 1 点

VII. 所蔵品の蒐集（1点）及び寄贈品（835点）

蒐集品（購入）富本憲吉作朝鮮風景スケッチ画 1 巻

寄贈品：芭蕉布衣裳 1 点、柚木沙弥郎作「染付玩具紋紬帯」1 点、柳宗悦書「帰去来」1 点、バーナード・リーチ作「うちわ絵」3 点、山ノ神茶壺 1 点、ブレインカ紋裂 1 点、丹波徳利 1 点、信楽茶壺 1 点、韓国ボジャギ 1 点、柚木沙弥郎染色作品 17 点、村田コレクション（西洋工芸）812 点、初期有田色絵山水文壺 1 点、米浪庄式宛柳宗悦書簡封書 1 点、米浪庄式宛柳宗悦書簡封書・ハガキ各 1 点、濱田庄司作（皿）1 点

VIII. 日本民藝館の営繕管理、設備等

- ・樋雨水排水路工事、エレベータ昇降ロープ定期交換、水槽排水ポンプ修理 空調修理 等
- ・西館の火災警報装置設置（東京都指定有形文化財として指定されたことに伴い、消防法等において自動火災報知設備の設置義務が生じたため）

IX. 役員等に関する事項

2022年6月24日 第1回定時評議員会

- 議事事項 ・2021年度事業報告書及び計算書類等について
・役員任期満了に伴う選任について 等

2022年5月20日 第1回定時理事会

- 議事事項 ・2021年度事業報告及び計算書類等の承認 等
・役員任期満了に伴う選任についての承認 等

2022年6月28日 みなし決議に関する理事会

- 議事事項 ・理事長及び常務理事の選定の承認 等

2023年3月9日 2022年度第3回定時理事会

- 議事事項 ・2023年度事業計画及び収支予算の承認
・2023年度定時評議員会の招集について 等

X. 収益事業

- 1) 日本民芸館展（新作工藝公募展）における入選作品の委託即売を展示会場内で行った。
- 2) 駐車場の月極車両契約は、京王不動産の委託管理により円滑に運営できた。

- ・2022年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成していない。

2023年5月
公益財団法人 日本民芸館